

はい…○ どちらともいえない…△ いいえ…× 該当事象がない…-			
規定、マニュアルやチェックリスト等の整備		改善の方向性	
1 倫理綱領、行動規範等を定めている。	○	・定めている	
2 倫理綱領、行動規範等について職員への周知徹底ができている。	○	・研修及び会議等において周知している。継続して行う。	
3 虐待防止マニュアルやチェックリスト等を作成している。	○	・作成している。	
4 虐待防止マニュアルやチェックリスト等について職員に周知徹底するとともに、活用している。	○	・定期的に研修等で活用するとともに、周知している。継続して行う。	
5 緊急やむを得ない場合の身体拘束等の手続き、方法を明確に定め、職員に周知徹底するとともに、活用している。	○	・マニュアル、契約書等を活用し、研修等で周知している。継続して行う。	
6 身体拘束について検討する場を定期的に設けている。	○	・研修、日々のミーティングにおいて、適宜検討している。継続して行う。	
7 緊急やむを得ない場合の身体拘束等について、利用者(家族)に説明を行い、事前に同意を得ている。	○	・契約時にご説明し、同意を得ている。適宜、ご説明を行う。	
8 個別支援計画を作成し、これに基づく適切な支援を実施している。	○	・個別支援計画を基に支援を実施している。継続して行う。	
9 個別支援計画作成会議は、利用者の参加を得て実施している。	-	・会議への参加は、現在戴いていないが、個別支援計画作成に係るアセスメントを適切に実施している。今後、必要であれば会議への参加を戴くことも検討していく。	
職員への意識啓発、研修			
10 職員に対して、虐待の防止に関する研修や学習を実施している。	○	・定期的に実施している。継続して行う。	
11 日々の支援の質を高めるための知識や技術の向上を目的とした研修を実施している。	○	・定期的に実施している。継続して行う。	
12 職員の虐待防止に関する意識、関心を高めるための掲示物などを掲示している。	○	・定期的に掲示を行っている。継続して行う。	
13 職員チェックリストの活用を図り、職員の虐待に対する意識や日々のサービス提供などの状況把握に努めている。	○	・会議、研修等でのチェックリストの活用や職員相互のチェックにより、状況把握に努めている。今後も継続して行う。	
14 早期発見チェックリストの利用の徹底を図るとともに、発見時の報告、対応等について明確にしている。	○	・チェックリストの活用を図るとともに、報告、対応等について周知している。	
外部からのチェック			
15 福祉サービス第三者評価事業を活用し、サービスの質の向上等に努めている。	-	・現在のところ、活用していないが、今後、必要であれば検討する。	
16 福祉サービス第三者評価事業を一定の期間ごとに継続的に受審している。	-	・現在のところ、活用していないが、今後、必要であれば検討する。	
17 虐待の防止や権利擁護について継続的に外部の専門家や法人内の他の施設の職員等による評価、チェックを受けている。	○	・現在のところ外部からの評価は実施していない。法人内の他施設の職員からの評価は行っており、今後も継続していく。	
18 施設、事業所の事業、監査において虐待防止に関わるチェックなどを実施している。	○	・実施している。今後も継続して行う。	
19 ボランティアの受け入れを積極的に行っている。	-	・現在のところボランティアの受け入れは行っていないが、外部講師の受け入れについては実績がある。ボランティアの受け入れについては、積極的に行う方針である。	
20 実習生の受け入れを積極的に行っている。	○	・実習生の受け入れを行った。今後も積極的に受け入れる方針である。	
21 家族、利用希望者の訪問、見学は随時受けている。	○	・見学、訪問については随時受け入れている。今後も積極的に受け入れる方針である。	
苦情、虐待事案への対応等の体制の整備			
22 虐待防止に関する責任者を定めている。	○	・責任者を定めて、対応の体制を整えている。	
23 虐待防止や権利擁護に関する委員会を施設内に設置している。	-	・対応の体制については整えているが、委員会を設置してはいない。今後、必要であれば検討していく。	
24 苦情相談窓口を設置し、利用者にわかりやすく案内するとともに、苦情解決責任者を規定等に定め、利用者からの苦情の解決に努めている。	○	・窓口を設置するとともに、契約時等にご説明している。また、事業所内に掲示し周知している。今後も継続していく。	
25 苦情相談への対応について、第三者委員を定め、利用者に案内をしている。	○	・第三者委員会を設置するとともに、契約時等にご説明している。また、事業所内に掲示し周知している。今後も継続していく。	
26 職員が支援などに関する悩みを相談することができる相談体制を備えている。	○	・相談体制を整えている。今後も継続していく。	
27 施設内の虐待事案の発生時の対応方法を具体的に文章化している。	○	・マニュアルや体制表により具体化している。今後も継続していく。	
28 施設内の虐待事案の発生した場合の再発防止策を具体的に文章化している。	○	・再発防止策について、リスク管理マニュアル等で具体化している。	
そのほか			
29 施設において利用者の金銭および貴重品を預かっている場合、その管理は複数の職員によるチェック体制のものになされている。	○	・貴重品等をお預かりする場合においては、複数でのチェック、報告を行っている。今後も、継続して行う。	
30 施設は、利用者またはその家族の意見や要望を聴く場を設けている。	○	・アンケートや送迎時等にお伺いするとともに、申し出により適宜、場を設けている。今後も継続していく。	
31 施設経営者、管理者は職員の意見や要望を聴く場を設けている。	○	・定期的な会議や日々のミーティング等を含め、適宜、意見を聞く場を設けている。今後も継続していく。	
32 施設経営者、管理者は施設職員同士がコミュニケーションを行う機会の確保に配慮や工夫を行っている。	○	・適宜、コミュニケーションを行う機会を設けている。今後も継続していく。	
33 利用者の希望や必要に応じて成年後見制度の利用支援を行っている。	-	・現在において行った実績は無いが、今後必要であれば支援を検討していく。	
34 希望や必要に応じて成年後見制度の活用等について利用者、家族に説明を行っている。	-	・現在において行った実績は無いが、今後必要であれば検討していく。	
35 利用者・家族、一般市民やオンブズマンなどからの情報開示にいつでも応じられる準備をしている。	○	・情報開示については、適宜応じられる準備をしている。今後も継続していく。	
36 虐待の防止や権利擁護について利用者・家族、関係機関との意見交換の場を設けている。	○	・関係機関との意見交換の場を設けている。ご家族、利用者様については、今後検討していく。	